

# ちよぼら

みんなで・楽しく・気軽にちよっとずつのボランティア

No. 16  
(2008.7)



5月28(水)、子育て支援センター“広場ちゃお”で楽しく遊ぶ子どもたちのようす

## 平成20年度 大刀洗町ボランティア連絡協議会総会

去る5月17日（土）、平成20年度大刀洗町ボランティア連絡協議会（ボラ連）総会がぬくもりの館で開催されました。

ボラ連が設立されて8回目の総会、毎年一人でも多くの会員さんに参加していただく事が課題でしたが、今年は総会后、安丸町長の講演会を予定していた事もあった為か用意していた椅子が全部うまってしまうという活気ある総会になりました。

今年は「ボランティアの輪を広げ、みんなで支え合う町づくり」というテーマを決め自分達の町は自分達でつくる、という意識を確認しあいました。



新加入団体音楽ボランティア“スノードロップ”の初々しい演奏の後、「住みよい町づくりについて」と題しての講演があり、町長の町づくりに対する熱意がひしひしと伝わってきました。そして私達もボランティアとしての町づくり、町民一人一人が大刀洗を変えてゆくだという思いが沸き上がってきました。今回は時間が少なく質疑応答という形は取れませんでした。いつか町長と語り合う機会をつくっていただきたいと思いました。

### 大刀洗町ボランティア連絡協議会



## 子ども見守り隊全体研修会が開催されました

4月28日（月）ぬくもりの館会議室にて「子ども見守り隊全体研修会」が開催され、隊員約70名が参加しました。

講師に小郡警察署・生活安全課課長・岩下昌彦氏を迎え、大刀洗町や周辺地域の犯罪状況や防犯の心得などについてお話を伺いましたのでご紹介します。

① 大刀洗町の犯罪のほとんどは、侵入・空き巣・忍び込み。まだまだ戸締まりの習慣がない家が多いのが現状です。しかし現在は交通網の発達により、犯罪者はよそから車でやってきます。まず自分の家から戸締まりをしっかりと、防犯についての情報を近所に教えるなど「地域の安全は地域で守る」という意識が大切ではないでしょうか。



② 都市部では、性犯罪や、通学時間・通学路上の小・中学生に対する声かけ・つきまといが増えているそうです。

最後に犯罪の抑止活動について、「犯罪者は“見られている”という意識が働くと犯罪を犯しにくい。見守り活動はまさに地域住民による抑止活動。買い物ついでに、散歩ついでに、学校と地域とが連携して見守り活動に取り組んでほしい。」と締めくくられました。

# ミニデイボランティア紹介

## 下高橋・ふじの会 ボランティア数27名

Q. 下高橋・ふじの会のボランティアの皆さんをご紹介します。

A. 「さくらの会からの続きで今は支援活動員を中心に、老人クラブ・ボランティアなど、いろいろな人が協力してやっています。」

「みんな一緒に和気あいあいとやっています。年輩・若いモン・中年（!?）と、下高橋はチームワークが一番よかとです!!」

Q. お昼のごちそうがもうできているんですか？

A. 「ふじの会は、ボランティアが無理なく長続きするようにお弁当を取っています。ここに並んでいるお料理はそれぞれが畑でとれたものを思い思い料理して持ってきているものです。」

Q. ご苦労はありますか？

A. 「自分の勉強になっています。みんな料理の超ベテランばかりなので、人のアイデアをいただいています。」（言ってるご本人も超ベテランのひとり・・・）

「ふじの会は男性会員が多いのも大きな特徴（会員74人中半数以上が男性）。人が人と呼ぶというか、お世話する方も張り合いがあります。」

「女性の思いやりがよかとです。だいたい下高橋は夫婦仲がよかとです!!」（笑）



取材日：平成20年5月12日（月）

## 守部・なごむ会 ボランティア数15名

なごむ会では、来月の七夕さまに向けて七夕飾りを作りました。会員さんは昔を思い出しながら、ボランティアもほんのちょっとお手伝いしながら、一緒に飾り作りを楽しみました。

Q. なごむ会の特長はどのようなところですか？

A. 「会員の皆さんがとにかくお元気だということ。今日も雨の中、迎えに行こうかと思っていたら一番遠い方が手押し車で来てくれました。楽しみにしてもらっている。」

「とにかくお茶を飲みに来てくれればいい、お互い元気な顔が見られれば・・・」

「男性の会員さんが少ない。男の人参加しやすい行事があれば・・・」

Q. ミニデイのあいだ中笑い声の絶えない、なごむ会のボランティアさんたち、ひとことアピールをお願いします。

A. 「なごむ会のボランティアは一言で言うと仲が良い。お互い気を使わなくていい。」

「そろそろ若い人が入ってくればねーと思っています。」

「“あげんがよかばの～、こげんがよかばの～” みんな自主的に協力しています」（笑）



取材日：平成20年6月19日（木）

# 「災害ボランティア講座」

6月29日 -ぬくもりの館会議室-

講師に福岡県総務部消防防災課の岸原昌広防災指導係長を招いて「災害時におけるボランティアセンターの運営について」と題した災害ボランティア講座が開催され、区長会、民生委員、老人クラブ、保育所、小学校、ボランティア連絡協議会等から40数名の参加者が熱心に聴講しました。自分達の地域を守るためには町内会・近所の助け合い、自主防災組織の設立、災害ボランティアセンターの設置が重要ですが福岡県の自主防災組織率は5



0.5%で大刀洗町の組織率は25%だそうです。また災害時に行政は個人の復旧にはタッチできないため災害ボランティアの活動は非常に大きな役割を果たす。災害ボランティアの活動には①救護・救援②清掃・片付け③搬送④医療支援⑤幼児・子どものケア⑥高齢者等要介護者の介護⑦心のケアなどさまざまなものがあり、それらを受け入れコーディネートするのが災害ボランティアセンター



の役割であるということでした。福岡県内で想定される災害について過去の事例や災害時には防災関係機関が対応できるのは一部であることから自分の命は自分で守る、地域の安全は地域で守るという意識が大切であることを写真とデータを使って分かり易く、時にユーモアをまじえながら説明される講師のお話に楽しみながらも改めて災害の恐ろしさ、防災に対する意識を普段から持つことの大切さを認識しました。

## 編集後記

先日テレビを見ていたら、元気な男の子が素手でトカゲをつかまえて大はしゃぎしているハンドソープのアニメコマーシャルが流れました。千切れたしっぽがまだ動いているのを不思議そうに眺める子供を見ていたら「トカゲの星」という童話を思い出したので、ご紹介します。

子猫に襲われた弟トカゲの身代わりになろうとした兄さんトカゲは、自分のしっぽが千切れたお陰で命拾いします。持ち主の命を守る為、しっぽは自分から千切れるのです。その健気な姿をじっと見ていた星に拾い上げられて、しっぽは、チラチラ光る夜空の星になったというお話です。

もうすぐ梅雨が明けたら、夜空の星がきれいに見えます。時にはこんな物語を想いながら、今までは気づかなかった小さな星を探して見るのもステキでしょう？ ☆Y・K☆

## 手話教室(初級)受講生随時募集中!

日時：毎週水曜日  
午後7時30分～9時  
場所：ぬくもりの館 会議室  
問合先：大刀洗町社会福祉協議会  
TEL77-4877

ボランティア活動に関する情報、ご意見、ご感想、お問い合わせは、  
「大刀洗町ボランティアセンター」まで  
TEL：0942-77-4877  
FAX：0942-77-4877

編集スタッフ

スマイル 代表 戸塚 幹 栄  
福村 宮 生  
福村 地代 充  
川端 好 江

